

入院. CT は, 症例1と同所見. アンギオで破裂動脈瘤を限定できなかったが, 同日後頭下開頭施行し, PICA の cortical segment (vermian branch) に動脈瘤を認め, clipping 施行した. 術後, 意識レベル改善傾向を示し, リハビリテーション中.

2A-7) 破裂後大脳動脈瘤 (P3 Portion) の1手術例

阿部 秀一・別府 高明 (岩手県立久慈病院 脳神経外科)

今回われわれは, 後大脳動脈-後側頭動脈分岐部動脈瘤の1例を経験したのでビデオにて供覧する. 症例は78歳, 女性. '94年11月頭痛, めまいにて発症, 3日後当科に入院. 意識清明, CT で右迂回槽に中等量の出血を認め, 右頸動脈撮影にて右後大脳動脈の, 後側頭動脈と頭頂後頭動脈の分岐部に4×5mmの動脈瘤を認めた (fatal type). 発症2週間後 subtemporal approach にて neck clipping を施行した. 術直後左不全片麻痺がみられたが, 翌日には回復, しかし CT で右後頭葉に low density area を認めた. 術3日後より左下肢麻痺が出現, CT で右内包後脚に low density を認めた. 術7日後脳血管撮影を施行, 動脈瘤は完全に消失していたが, 頭頂後頭動脈は造影されなかった. その後杖歩行可能となっている. 文献的考察を加えて報告する.

2A-8) 頭蓋内多重疾患を伴った, 破裂脳動脈瘤の1例

宇都宮昭裕・岡田 仁 (大宮赤十字病院 脳神経外科)
村石 健治・金子 宇一 (同 病理)
兼子 耕 (同 病理)

平成6年12月20日, 突然の頭痛, 嘔吐にて発症, 当日救急搬送された. CT 上, クモ膜下出血と左前頭葉内血腫の他, 前頭蓋底傍正中部に石灰化を伴った脂肪腫と思われる低吸収域と, 左前頭部内側, 右前頭側頭部に広範なクモ膜嚢胞が存在した. 脳血管撮影にて, 右前大脳動脈瘤, 不對前大脳動脈を認めたため, 12月22日右前大脳動脈瘤クリッピングを行った. 手術中, 左前頭部嚢胞, 傍正中部の脂肪腫の他に, 前頭葉底部に類上皮腫を思わせる小腫瘍を認めた. 嚢胞壁, 小腫瘍を病理診断に提出したところ, ラトケ嚢胞と軟骨様細胞であった. 術後, 脳血管攣縮による意識障害, 失語が出現したため, 現在リハビリ中である.

本症例は, 右前大脳動脈瘤, 不對前大脳動脈, 脂肪腫, ラトケ嚢胞, クモ膜嚢胞軟骨の迷入組織を合併した稀なものであり, 若干の文献的考察を加えて報告する.

2A-9) 一側性内頸動脈無形成における脳動脈瘤合併症例の検討

西野 晶子・荒井 啓晶 (国立仙台病院 脳卒中センター)
川村 強・上之原広司 (脳神経外科)
鈴木 晋介・桜井 芳明 (脳神経外科)

一側内頸動脈 (IC) 無形成に脳動脈瘤 (AN) を合併した2例を報告する. <症例1> 65才男性. 1993年2月18日, 突然の頭痛にて発症し当科搬送された. CT にてくも膜下出血 (SAH), 脳血管写では, 左頸動脈写にて Acom AN を認め, 右中大脳動脈 (MCA) が crossflow を介して造影された. 右頸動脈写では, 外頸動脈 (EC) のみで, IC は描出されなかった. 2月19日, 両側前頭開頭にて, 脳動脈瘤根治手術を施行, 術中所見から右 IC 無形成と診断された.

<症例2> 50才男性. 1995年1月13日, 意識障害にて当科入院となった. CT にて SAH, 脳血管写では, 右頸動脈写にて Acom 及び両側前大脳動脈 (A2A3 junction) AN を, 左頸動脈写では, EC のみが造影され, 左 MCA は, 左椎骨動脈写にて Pcom を介して描出された. 1月14日, 両側前頭開頭による脳動脈瘤根治手術を施行, 術中所見から左 IC 無形成と診断された. 破裂部位は Acom AN であった. <考察> 当科にて経験した IC 無形成症例はいづれも Acom AN を合併していた. これらの発生機序について文献的考察を加えて報告する.

2A-10) Infraoptic course of anterior cerebral artery (ACA) を親動脈とした破裂脳動脈瘤の1剖検例

藤村 幹・菅原 孝行 (岩手県立中央病院 脳神経センター)
関 博文・奥 達也 (脳神経外科)
樋口 紘 (脳神経外科)
富地 信和 (岩手県立中央病院 第一病理科)

くも膜下出血 (SAH) により発症し剖検が得られた, 希な vascular anomaly である infraoptic course of ACA を経験したので報告する.

(症例) 69歳女性. 15年前より高血圧の既往あり. 平成7年12月22日, SAH (major attack) にて発症し当院搬送入院となった. 入院時, H and K Grade 4, Fisher

の CT 分類で group 4 であった。血管撮影を施行し右内頸動脈撮影にて右 IC, cavernous portion 直上より分岐し前内方へ向かい、正中で上方へ方向を転じる奇異な走行をする異常血管を認めた。異常血管は distal で fenestration を形成し、直上に動脈瘤を認めた。右側の A1 は造影されなかった。入院翌日、acute hydrocephalus による意識レベルの低下認められ、緊急脳室ドレナージが施行された。12月25日、急激な肺鬱血を認め、翌26日死亡した。剖検により右内頸動脈 cavernous portion より分岐し infraoptic course をとる ACA が確認された。その画像的そして解剖学的所見について若干の文献的考察を含めて報告する。

2A-11) 脳室内出血で発症したモヤモヤ病に合併した前脈絡叢動脈末梢部動脈瘤の1治療例

赤池 秀一・柏原 謙悟
吉田 一彦・松本 哲哉 (福井県立病院)
村田 秀秋 (脳神経外科)

症例は59歳女性で、平成4年2月に脳室内出血を発症した。血管撮影を施行し、両側内頸動脈閉塞とモヤモヤ血管、左前脈絡叢動脈末梢部動脈瘤をみとめた。動脈瘤が小さく出血源との確診が難しく、優位半球であったので再度血管撮影を施行したところ、動脈瘤は縮小しており経過観察とした。平成6年10月、再び脳室内出血を発症し、血管撮影を施行したところ、前回と同部位に動脈瘤をみとめた。前回と今回の CT 所見から、左前脈絡叢動脈末梢部の動脈瘤が出血源と考えられた。平成7年2月に左頭頂葉経由で動脈瘤を摘出した。術後に合併症はみとめず、組織診断は真性動脈瘤であった。

モヤモヤ病に末梢部動脈瘤を合併する報告はいくつかみられるが、その治療に関する報告例は比較的少ない。今回、脳室内出血を繰り返したモヤモヤ病に合併する優位半球の前脈絡叢動脈末梢部動脈瘤を経験し、出血で発症したモヤモヤ病に末梢部動脈瘤を合併する場合、積極的な治療が望ましいと考えられた。

2A-12) 脳室内出血で発症した前脈絡動脈遠位部動脈瘤の1例

嶋崎 光哲・松崎 隆幸 (函館赤十字病院)
尾崎 義丸・佐藤 憲市 (脳神経外科)
松本 信勝 (松本脳神経外科)
医院

脳室内出血の原因としては高血圧性脳内出血、破裂動

脈瘤、AVM、モヤモヤ病などがあげられるが、脳室内に発生した動脈瘤による脳室内出血の報告は非常に稀である。今回、我々は脳室内出血で発症した前脈絡動脈遠位部動脈瘤の1例を経験したので報告する。

症例は63歳、女性。頭痛・嘔吐を主訴に来院。神経学的には明らかな異常は認めなかった。CT では右側脳室に強い脳室内出血を認め、脳血管撮影では右前脈絡動脈遠位部に嚢状の動脈瘤を認めた。手術は右側頭開頭でおこない、中側頭回より経皮質アプローチで側脳室下角部に入ると一部血栓化を伴う動脈瘤があらわれ、クリッピングを行った。術後は特に神経症状を残さず経過している。

2A-13) 出血源が不明瞭なくも膜下出血の手術

後藤 博美・小麓山博之
笹沼 仁一・後藤 恒夫
高橋 和孝・渡辺善一郎 ((財)脳神経疾患)
遠藤 雄司・高橋 秀和 (研究所附属南東北)
小泉 仁一・渡辺 一夫 (病院脳神経外科)

出血源不明のクモ膜下出血の治療方針については種々議論されている。最近、クモ膜下出血が CT で片側に強くみられた症例で、脳血管撮影で出血源が不明瞭な4症例に開頭術を施行した。このうち2例で中大脳動脈瘤が認められたので、術中所見を中心にビデオで供覧する。

〈症例1〉62歳・女性。Hunt and Kosnik Grade 3, CT で右島槽を中心に Fisher Group 3 のクモ膜下出血。

〈症例2〉57歳・女性。Hunt and Kosnik Grade 2, CT で右島槽から基底槽にかけて Fisher Group 2 のクモ膜下出血。2症例とも中大脳動脈分岐部の僅か末梢に一部血栓化した小さな脳動脈瘤が認められた。〈考察〉出血源が判然としないクモ膜下出血では、脳動脈瘤が動脈の分岐以外にみられることがある。このため術中、動脈瘤を動脈の分岐と一瞬誤認してしまう可能性があるため、注意が必要である。安全に手術を進めるためには親血管を早期に確保することがより重要と考えられた。

2A-14) 前大脳動脈・副中大脳動脈の解離性動脈瘤の1例

太田原康成・工藤 明
阿部 深雪・鈴木 倫保 (岩手医科大学)
小川 彰 (脳神経外科)

前大脳動脈に発生する解離性動脈瘤は稀である。我々は、クモ膜下出血で発症した前大脳動脈及び副中大脳動